

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 株式会社グローバルダイニング 上場取引所 東
コード番号 7625 URL <https://www.global-dining.com/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 耕造
問合せ先責任者 (役職名)取締役最高財務責任者 (氏名)中尾 慎太郎 (TEL)050-5443-1028
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	5,387	17.3	265	—	263	277.4	292	421.8
2022年12月期第2四半期	4,593	△2.6	21	△95.2	69	△87.4	55	△90.5

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 460百万円 (33.1%) 2022年12月期第2四半期 346百万円 (△47.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年12月期第2四半期	28	17	27	95
2022年12月期第2四半期	5	40	5	36

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	7,811	—	4,069	—	51.8	—
2022年12月期	7,238	—	3,603	—	49.5	—

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 4,046百万円 2022年12月期 3,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	10,983	14.9	569	153.6	575	93.3	597	168.7	57	66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期 2 Q	10,370,800株	2022年12月期	10,370,300株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	711株	2022年12月期	711株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期 2 Q	10,369,660株	2022年12月期 2 Q	10,361,043株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、2023年8月4日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は弱まり、国内における行動制限の緩和や海外からの入国制限緩和により、経済社会活動の正常化が進みました。しかし一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や円安によるエネルギー価格や原材料価格の高騰、物価上昇など依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、来店客数に回復の動きが見られ、また外国人観光客も増加傾向で客足は戻りつつありますが、上記経済環境下における急激な物価上昇や労働力不足などにより厳しい状況が続いております。

こうした中、当社グループは、創業50周年を迎えるにあたり、「企業理念」を再定義することで、組織やスタッフ一人ひとりの士気を向上させ、持続的な成長と企業価値の更なる向上を図っております。また、営業基盤の強化として、引き続きマネジメント層やサービススタッフの教育・指導を徹底しサービス面の強化に取り組むとともに、コロナ禍で延期されていた団体イベントニーズの取り込みに注力いたしました。そのほか、2月に収益改善の見込めない愛知県名古屋市の「ラ・ボエム パスタフレスカ名古屋則武新町」を閉店いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、53億87百万円（前年同期比17.3%増）となり、当第2四半期連結累計期間末の総店舗数は45店舗となりました。

損益につきましては、営業利益は2億65百万円（前年同期比1,111.1%増）、経常利益は2億63百万円（前年同期比277.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億92百万円（前年同期比421.8%増）となりました。

報告セグメントについては、当社グループはレストラン経営を主とする飲食事業という単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

売上高をコンセプト（営業形態）別にみると、「ラ・ボエム」は13億5百万円（前年同期比11.1%増）、「ゼスト」は1億93百万円（同30.1%増）、「モンズーンカフェ」は9億18百万円（同19.9%増）、「権八」は13億99百万円（同70.1%増）、「ディナーレストラン」は8億26百万円（同1.2%減）、「フードコロシアム」は73百万円（同11.2%増）、「その他」は6億70百万円（同14.0%減）となりました。既存店売上高につきましては前年同期比で18.1%増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して5億72百万円増加し、78億11百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して66百万円増加し、19億7百万円となりました。

固定資産は前連結会計年度末と比較して5億5百万円増加し、59億3百万円となりました。主な変動要因は、有形固定資産が4億66百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して2億60百万円減少し、15億17百万円となりました。主な変動要因は、1年内返済予定の長期借入金が1億70百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して3億65百万円増加し、22億24百万円となりました。主な変動要因は、リース債務が3億83百万円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して4億66百万円増加し、40億69百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が2億92百万円、為替換算調整勘定が1億66百万円それぞれ増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して82百万円増加し、11億90百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益2億63百万円、減価償却費95百万円などにより、営業活動の結果得られた資金は、3億86百万円（前年同期は1億59百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出1億11百万円などにより、投資活動の結果使用した資金は1億19百万円（前年同期は1億75百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入金の返済による支出2億6百万円などにより、財務活動の結果使用した資金は2億18百万円（前年同期は2億23百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想は下記を見込んでおります。

詳細につきましては、2023年7月27日公表の「第2四半期連結業績着地見通し及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（連結）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2023年12月期（予想）	10,983	569	575	597
2022年12月期（実績）	9,558	224	297	222
増減率%	14.9	153.6	93.3	168.7

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,108,063	1,190,456
売掛金	384,460	311,423
商品及び製品	10,930	8,279
原材料及び貯蔵品	169,639	176,962
その他	167,892	220,598
流動資産合計	1,840,986	1,907,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,309,724	7,424,495
減価償却累計額	△5,282,576	△5,423,905
減損損失累計額	△902,977	△848,456
建物及び構築物(純額)	1,124,170	1,152,132
土地	2,785,674	2,866,544
その他	305,447	662,911
有形固定資産合計	4,215,292	4,681,588
無形固定資産	1,230	7,317
投資その他の資産		
差入保証金	1,067,938	1,066,387
その他	113,495	148,168
投資その他の資産合計	1,181,433	1,214,555
固定資産合計	5,397,955	5,903,461
資産合計	7,238,942	7,811,181

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	296,383	256,676
1年内返済予定の長期借入金	593,776	423,140
その他	887,130	837,466
流動負債合計	1,777,290	1,517,282
固定負債		
長期借入金	1,177,022	1,155,452
退職給付に係る負債	46,536	47,970
資産除去債務	570,363	573,087
その他	64,655	447,998
固定負債合計	1,858,577	2,224,508
負債合計	3,635,868	3,741,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,140	43,273
資本剰余金	2,143,098	2,143,230
利益剰余金	1,269,570	1,561,654
自己株式	△351	△351
株主資本合計	3,455,457	3,747,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,167	11,635
為替換算調整勘定	121,318	287,332
その他の包括利益累計額合計	130,485	298,967
新株予約権	17,130	22,614
純資産合計	3,603,074	4,069,389
負債純資産合計	7,238,942	7,811,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,593,694	5,387,618
売上原価	4,086,083	4,579,121
売上総利益	507,611	808,497
販売費及び一般管理費	485,699	543,120
営業利益	21,911	265,377
営業外収益		
協力金収入	62,246	-
設備賃貸料	3,957	5,153
その他	21,222	12,717
営業外収益合計	87,425	17,870
営業外費用		
支払利息	11,174	9,310
為替差損	26,078	8,798
その他	2,346	1,981
営業外費用合計	39,600	20,090
経常利益	69,737	263,157
税金等調整前四半期純利益	69,737	263,157
法人税、住民税及び事業税	13,764	6,418
法人税等調整額	-	△35,345
法人税等合計	13,764	△28,926
四半期純利益	55,972	292,084
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,972	292,084

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	55,972	292,084
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,396	2,467
為替換算調整勘定	287,766	166,013
その他の包括利益合計	290,163	168,481
四半期包括利益	346,135	460,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346,135	460,565
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	69,737	263,157
減価償却費	102,544	95,588
受取利息及び受取配当金	△314	△4,450
支払利息	11,174	9,310
為替差損益(△は益)	26,078	8,798
協力金収入	△62,246	-
売上債権の増減額(△は増加)	59,150	75,855
前払費用の増減額(△は増加)	19,221	36,636
棚卸資産の増減額(△は増加)	35,675	△2,307
仕入債務の増減額(△は減少)	△62,431	△40,651
未払費用の増減額(△は減少)	△47,357	△60,567
未払消費税等の増減額(△は減少)	△263,015	64,451
預り金の増減額(△は減少)	△7,881	△79,608
その他	△60,789	25,431
小計	△180,452	391,646
利息及び配当金の受取額	314	4,450
利息の支払額	△6,870	△8,369
延滞金の支払額	-	△2,343
協力金の受取額	62,246	-
法人税等の支払額	△34,362	△13,110
法人税等の還付額	-	13,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	△159,124	386,126
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△144,952	△111,631
資産除去債務の履行による支出	-	△7,680
差入保証金の差入による支出	△30,753	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△175,705	△119,311
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△208,096	-
長期借入れによる収入	200,714	-
長期借入金の返済による支出	△206,704	△206,954
リース債務の返済による支出	△11,268	△11,265
ストックオプションの行使による収入	1,570	181
その他	△12	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△223,796	△218,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	67,313	33,615
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△491,313	82,392
現金及び現金同等物の期首残高	1,850,873	1,108,063
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,359,559	1,190,456

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。